

## 保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 翔天会（あまかけるかい）
施設名	実りの木保育園
報告書（役職）	西川 創（理事長）
住所・連絡先	茨城県鹿嶋市須賀1335-1番地 TEL 0299-94-6008 E-mail minorinokihoikuen@noritsugakuen.co.jp

### ○タイトル（保育計画）

心の根っこを育む

### ○主な助成備品

紙芝居セット、楽器セット、カラー玉入れかご、ウォールフレーム、はなまるあっちこっちブロック、ムーブマグネット、安全柵、自立式扉

## 1. 保育計画策定の目的

主体的な遊びや学びを通して自ら考え、工夫し、試行錯誤する学びの芽を大切に育てていくという保育理念のもと、最低限の保育材料を準備して2021年4月に実りの木保育園は開園しました。幸いにも広々とした園庭やホールがあることで子ども達は元気に走り回って生活し成長していますが、1年間保育をしていく中で保育材料や園庭の遊具など、色々なものをもっと用意しておいてあげることができていれば、他にも気づきや成長をもたらすことができたのではないかと場面が多くありました。今回、知り合いから第一生命財団のホームページを紹介していただき、新設の保育所等が保育の質を高めるために、独自に実施する保育計画にかかる備品等の購入費用の一部を助成して頂けることを知り応募しました。2021年度は、子ども達には無限の可能性があり、その可能性を伸ばしていくためには、保育者の導きはもちろん、保育を支える材料が常に重要であることを実感した年でした。安全で安心な保育環境を整備して、充実した生活を子ども達が送ることができる保育園を目指します。

## 2. 具体的な実施内容

### （1）紙芝居セット

季節の行事、イベント、製作を行う前に活用しています。紙芝居で行事について考えることで、子ども達の興味・関心を高めることができます。以上児ではクイズ形式になっている内容に「これは〇〇！」と答える姿が見られ、自信をもつことができました。未満児は、行事をわかりやすい紙芝居で知ることでも初めてのことで期待感をもつことができます。紙芝居は、絵本とは違い、絵や写真が大きいので多くの子ども達を対象に実施する



ことができます。保育者と園児の間だけではなく、子ども同士の間にも対話が生まれ、共感が育っています。子ども達から「また紙芝居を見たい」という声が多く上がっています。

## (2) 楽器セット



楽器セットは、リトミックや生活発表会で活用しています。子ども達は、さまざまな楽器の音色に触れながら、音を合わせる楽しさを知ることができ、それぞれの楽器の扱い方を伝える事で物を大切にする心も育めました。また、楽器を0歳児から5歳児の全クラスの子も達が体験できるので、リズム遊びに幅が広がり、様々な音感を育てることができました。生活発表会では、友達といっしょに合奏することで友達の良さに気付いたり、協力する姿が見られました。また、保護者に聴いてもらったことで、子ども達は、充実感や達成感を得ることができました。

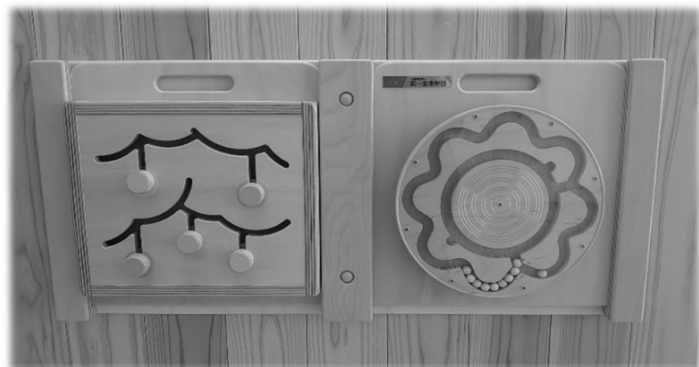
## (3) カラー玉入れかご



カラー玉入れかごは、日頃の遊びの中で活用しています。玉をたくさん入れたいという気持ちから何度も挑戦したり、玉を投げる強さや角度によって入りやすさが違うことに気づき、工夫する姿が見られました。また、玉が入らなくて困っている友達に教えてあげたり、応援する姿が見られ、みんなで協調し合いながら楽しく遊ぶことができています。また、園児が玉を投げる力や跳ねる力を身に付けることができています。運動会では、3歳児の親子

競技で活用しました。お家の方に抱っこやおんぶをしてもらって玉を入れることで触れ合いの場となり、親子で笑顔と共に楽しく活動できました。

#### (4) ウォールフレーム、はなまる、あっちこっちブロック、ムーブマグネット



0, 1歳児の保育室に常設しました。壁付けの玩具は初めてだったため、子ども達も興味深々な様子でした。「はなまる」はハンドルに見立てて夢中になって回し、楽しむ姿が見られました。「あっちこっちブロック」では、色彩感覚を身に付けながら試行錯誤を重ね、遊ぶ姿が見られました。壁面玩具で遊ぶことで指先の器用さが高まり、細かな動きができるようになってきています。また、追視することで見る力を育むことができています。

#### (5) 安全柵、自立式扉



安全柵、自立式扉は、正面玄関前に設置しました。保護者が必ず扉を開閉することをルールとして活用しているので、園児が玄関から駐車場へ出る心配がなくなりました。園児の園内での安全な生活の確保に大きな効果がありました。

### 3. その成果と評価

#### (1) 安全対策

送迎時に正面玄関の錠が開いているとき、園児が玄関から外に出る心配がありましたが、安全柵と自立式扉を設置したので、園児が玄関の外に出ないようにする安全対策が確保されました。特に3歳未満児クラスの子ども達は、安全な園舎の中であっても危険が伴う場所がありました。好奇心旺盛な子どもはどうしても危険なところが気になるよ

うです。ドアや出入り口などへ向かいやすく、正面玄関は、保育者の目が届きにくい場所でもあり、思わぬ事故につながる可能性もありました。安全柵、自立式扉を設置したことにより保育者はしっかりと子ども達を見守りながらも、さらに安心して保育できるようになりました。柵は壁や床を傷つけず取り付けられたので、避難時はすぐに移動でき、さまざまな面での安全対策として成果がありました。

## (2) 保育の広がり

本園は2021年4月に開園したばかりのため、最低限の保育用品は準備できましたが、より保育の内容を広げるために、乳児用壁面遊具、戸外や室内で思い切り身体を動かせる遊具、楽器類の充実を図りたいと考えていました。

紙芝居については、開園当初、絵本は各クラスに用意しましたが、紙芝居は用意することができませんでした。絵本とは違い文を見ることがほとんどない紙芝居は絵と語りで構成され、演劇を見る感覚に近いことから、絵本の読み聞かせとは異なるコミュニケーションが生まれました。

楽器は、主に4、5歳児対象に、さまざまな楽器に親しみ、音を出すことに興味をもち、音色やリズムで自分の思いを表現することを楽しむ体験を取り入れることを目的としましたが、0歳児から5歳児までがさまざまな楽器の音色に触れることができました。

園全体の保育の向上につながりました。

玉入れは、日頃の遊びの中で遊戯室で活用するができ、さらに異年齢での活動や親子触れ合いのイベントでも活用することができました。子ども達が協調し合う姿が見られました。

乳児用壁面遊具は、子どもが遊びたいときに手に取って夢中になって遊ぶ姿が見られ、思考力や集中力の向上へとつなげることができました。

## 4. 今後の課題と展望

コロナ禍で開園したこともあり、様々な活動や地域との関わりが制限されました。その中でも、主体的な遊びや学びを通して自ら考え、工夫し、試行錯誤する学びの芽を大切に育てていくために保育者は日々話し合い、小さな不安や疑問にも園全体で取り組んできました。今回、助成金により備品を補充させていただき、活動の幅が大きく広がりました。

今後も子ども達が安全で安心して生活できる環境、子ども達の「やってみよう」という好奇心や意欲を育み、夢中になって遊べる環境、そして、継続的に活動できる環境を整えていきたいと考えています。

以上